

政策評価結果

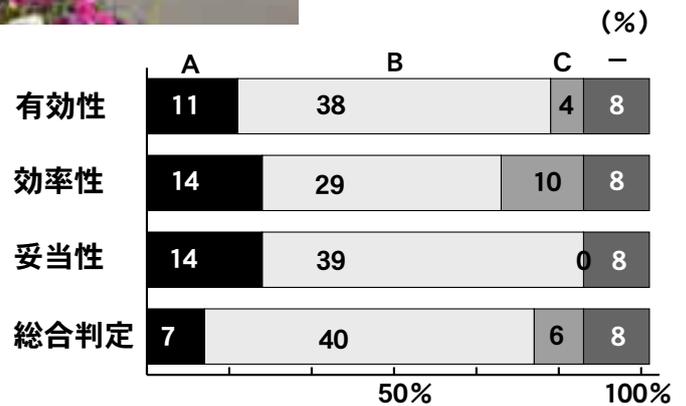
町が実施する施策と事務事業の点検・評価を実施しました。

今年度は、第5次総合計画のスタートの年であることから、新総合計画を着実に推進し、質の高い行政の実現と住民の視点に立った成果重視の行政への転換を目指すため、毎年実施している事務事業評価のほかに施策評価を試行的に実施しました。



■ 施策評価

総合計画に掲載されている全37項目の施策（基本的な視点の17項目、施策推進の視点の9項目、重点プランの11項目）について、点検および評価を実施し、総合計画で示した指標などを踏まえて各施策の効果を検証しました。



	A	B	C	-
有効性	有効であった	概ね有効	有効ではない	判定なし
効率性	効率的であった	概ね効率的	非効率的	判定なし
妥当性	妥当であった	概ね該当	妥当ではない	判定なし
総合判定	極めて良好	良好	要改善	判定なし

政策評価委員会による評価

町民7名で構成される政策評価委員会では、委員が住民生活に深く関わりのある事業を中心に施策評価該当37施策のうち3施策を評価対象として選定し、住民の立場からの評価を実施しました。

意見 商工業・観光の振興、雇用対策

地域 ブランドの創出にあたって、その方向性が町民には、わかりにくい部分が多い。現行のものでブランド化を目指すのか、新たな商品を開発するのか、ものではなく観光や資源などのブランド化を目指すのかなど、関係機関との連携などをを早急に進められたい。また、雇用を含め、まちを活性化させる大きな施策として企業誘致・企業支援があげられるが、基幹産業である農業にばかりにこだわることなく、柔軟かつ積極的に企業誘致策などを展開されたい。

意見 幼稚園・保育所の一元化の推進

運営 主体を行政から民間へ、また、幼稚園と保育所の二つの異なる施設を一元化するという、これまでに無い取り組みで住民の不安は大きいと考える。

特に住民・事業者・町の三者の間で教育理念に関する見解の相違やまちの特色の受け止め方の違いなどが生ずることが懸念される。民営化によるメリット、一元化によって幼稚園と保育所それぞれが持っていたメリットの相乗効果が発揮される施設になるよう取り進め願いたい。

■ 事務事業評価（事前評価）

事前評価は、平成 22 年度に新規事業として予定している 26 事業について「事務事業の必要性および緊急性」の観点から評価しました。

行政サービスの向上に直結する「町税や国民健康保険税のコンビニ収納サービス」と「土地情報管理システム」は実施見込み事業としました。また、消防車両（小型動力ポンプ付積載車）の更新事業については、消防分団の再編検討とともに車両の再配備を検討することとし、実施を見送る結果となりました。

■ 事務事業評価（中間評価）

中間評価では、各担当部課および 2 次評価のメンバー等で評価の必要があると判断する 21 の事務事業を対象としました。評価は、右の円グラフのとおり予算の増減を事業費評価で、事務事業の規模の判定を総合判定によりそれぞれ実施しました。

評価例

① 国営農業用水再編対策事業（太美地区）償還金

平成 17 年度から国営事業で建て替えを行った太美排水機場の町負担分の一括償還については、長期的には金利の関係から経費削減につながるが、一時的に支出増となることから、そのタイミングについては財政当局と十分に協議し取り進めることとし、事業費評価で B（増加事業）、総合判定で A（継続実施事業）という結果になりました。

② 地域福祉計画運用事業

5 か年計画を策定する費用として 2 年で 556 万円は高額であるとの判断から、事業費評価で B（増加事業）、総合判定で C（縮小事業）という結果になりました。

■ 政策評価のまとめ

国が行った事業仕分けはみなさんの記憶に新しいと思いますが、当別町においても事務事業、施策の点検・評価・見直しを行っています。今年度の評価は、厳しい経済、財政事情を考慮し、事務事業の効率化や見直しを図りながら施策推進に努めることを基本とし、各施策や事務事業の実施規模がまちの現状を踏まえたものとなっているかを判定基準としました。

今後においても、町民のみなさんからご意見をいただきながら第 5 次総合計画のテーマである「自然を身近に感じ活気に満ちた美しいまちづくり」を進めるため、効率的で透明性のある行政を目指します。

評価例 コンビニ収納サービス業務

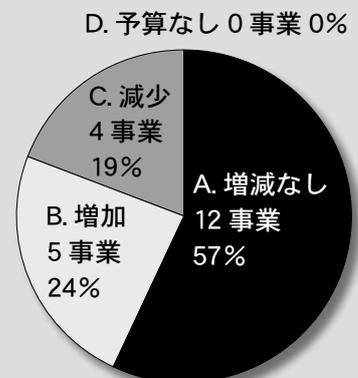
◆ 予算額 406 万円

◆ 判定 A. 実施見込み事業

◆ 意見等 収納率および行政サービスの向上を図る上から関係課と連携し進められたい。なお、サービス実施後も、その費用対効果について適宜検証すること。

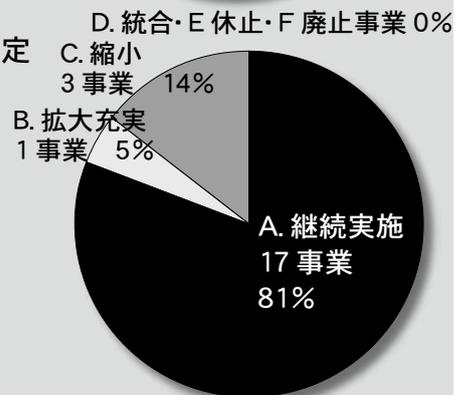
〈事業費評価〉

予算の増減



〈総合判定〉

事業規模の判定



ご意見をお寄せください

政策評価の詳細や結果は、町ホームページに掲載しています。事業内容等の調査は、2 月下旬に掲載予定をしています。皆様のご意見をお待ちしています。

▼ 問合せ 企画課企画振興係 (☎ 23 - 3042)

メール shinko@town.tobetsu.hokkaido.jp

当別町 140 年記念 第 28 回

あそ雪の広場

子どもに大人気の滑り台をはじめ、大人も楽しめる航空自衛隊の雪上車体験試乗など、家族みんなで当別の冬を楽しみましょう。

おいしいとべつ登場！

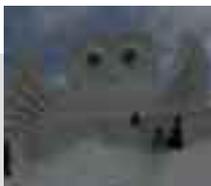
飲食コーナーに当別産のお肉や野菜を使ったおすすめ料理が登場します。イチオシメニューは、あそ雪会場でしか味わえない「豚丼」です。(1日限定 200 食) その他にも各団体が工夫を凝らした自慢の一品をご賞味ください。

◆日時 2月13日(土) 13時～20時
14日(日) 9時～14時

◆会場 阿蘇公園グラウンド

◆主催・問合せ

あそ雪の広場実行委員会
(観光協会内・23 - 3129)



主なタイムスケジュール

13日(土)

13:00 開場 滑り台開放、雪上車体験試乗開始
15:30 ジュニアリーダー ゲーム大会
16:30 当別町観光協会主催〇×ゲーム大会
17:00 当別太鼓
17:20 ヨサコイ
18:00 開会式
18:20 雪像コンクール表彰式
18:40 花火大会
19:00 ビンゴ大会

14日(日)

9:00 開場 滑り台開放、雪上車体験試乗
消防工作車展示(10時まで)
9:30 ハッピー杯 雪中玉入れ大会
11:00 こども綱引き
11:40 もちつき
12:00 ジャズダンス
12:40 お楽しみ抽選会
13:30 閉会式(もちまき)

※時間・内容が変更になる場合があります。



みんなで祝おう 当別町 140 年記念イベントを募集

今年、当別町 140 年という記念すべき年を迎えるに当たり、先人の偉業を讃えるとともに、当町の未来に向けたまちづくりへの決意を新たにするため、記念式典や物故先人先覚者慰霊祭などの開催等を企画しています。

町民の皆様と共に「当別町 140 年」を記念すべき年にしようと、各民間団体や町民の皆様で企画、開催する「当別町 140 年記念イベント」を募集します。

パワーを感じ、元気になるようなイベントをお待ちしております。

▼対象要件

- ①平成 22 年中に開催予定のイベントであること。
- ②文化、スポーツ大会など、町民参加型のイベントであること。
- ③営利を目的せず、かつ、公序良俗に反しないイベント内容であること。
- ④イベントの開催に際しては、名称に「当別町 140 年記念」と冠すること。

▼応募方法 応募様式(総務係窓口及び町HPより取得できます。)に住所、氏名(団体にあつては、団体名及び代表者氏名)、連絡先、イベントの内容、開催日時等を明記し、総務係宛てにご提出ください。

ご提出されたイベント内容等の確認の後、「当別町 140 年記念イベント認定証」を発行します。

▼募集期間 3月15日(月)まで

▼その他 イベント内容により、人材育成基金等の助成を受ける場合があります。(助成を受ける場合には、別途申請が必要となりますのでご相談ください。)

▼問合せ 総務部総務課総務係

〒061 - 0292

当別町白樺町 58 番地 9

☎ 23 - 2330/FAX23 - 3206

